

平成27年6月11日

## 「いじめのスパイラル」を読んで

岡山県備前市立伊里中学校

- お母さんは声のトーンだけでわかっているのがすごい。両親や先生、クラスの友達の支えがあるから、壁を乗り越えていった。
- 共感できることがたくさんあります。特に「私はクラスみんなに支えられている」というところです。僕も体育会でバトンを落として落ち込んでいたところに「自分のせいじゃない」と言われたのが嬉しく、テントに帰ってもみんな優しく、誰も何も言いませんでした。クラスはとても大切な存在だと思えました。
- いじめている人は、いじめられている人の気持ちが分からないから、新たな憎しみが生まれることを、改めてこの作文でわかった。いじめた人は忘れていても、いじめられた人はいつまでも心に残ることを知った。人は一人では生きて行けないから、自分たちはたくさんの人に支えられて生きていることを実感した。
- 今まで普通に生活していて、急に一人になるのは辛いと思いました。一人で何でもため込むのではなく、人に相談することが必要だと感じました、「やられたらやり返す」ということは絶対にいけないと思いました。お互いの悪いところを反省して、「いじめ」というものをなくすことが重要だと思います。「いじめ」をしてしまった人も、これからはやらないようにしていけばいいと思いました。
- 自分がイライラするから、一方的に人を傷つけるのは絶対にしてはいけないと思いました。「いじめている人は弱い人間だから」ということがよく分かりました。ちょっとした口げんかや、暴言も全てがイジメにつながることはよくある事だと思うので、自分はちゃんと相手の気持ちを考えて行動していきたいと思いました。
- いじめのきっかけって自分自身ではなぜこうなったのかは分からなくて、ふとしたときに起こる。自分のグループに必死になって話についていくこと、今辛くでも恥ずかしくて、親にも相談できない、その気持ち分かります。でもそういう時に自分が心から信じている人や周りからの言葉ってすごく大きい。その時の辛い思いを知っているから、これから嫌なことや辛いこと、悔しいことも、どうしたらいいかを自分で判断できるようになる。強くなれる。いじめはいけないけれど、どこかで起こっている。だから、私の目の前にいる人を大切にしていきたい。
- 他の人がいじめていたら、注意できるようになりたい。
- 自分はいじめに関係ないと思いつまらず、すぐそばにあるんだということを日頃から意識していきたいと思います。誰かがされていたら、花田さんのように接したいです。
- この文章を読んで、友達に普段言っている言葉が友達を傷つけていないかとても心配になりました。友達のことをすぐに仲間はずれにしたり、無視したりすることはいけないと思いました。友達は自分にとって大切な存在だと改めて気づきました。
- 自分の口に出している事が、知らないうちに人と傷つけていないかよく気をつけて口に出したいと思った。自分はいじめていたことがあったから、もうしないようにしようと思った。

- ・信頼し合える関係を今のうちに作っておいて、裏切られたらがんばって親や先生に相談したいです。いじめはとても苦しいものだと改めて分かった気がする。
- ・当たり前だから気づけない、人は支え合って生きていること、一人では生きて行けないこと、自分が多くの人に支えられて生きていることが分かりました。
- ・自分がいじめられたら・・・想像するとかわいそうになった。いじめられたら誰でもいいから相談しようと思ったし、いじめられている人を見たら、ほっとかずに相談に乗ったり、話を聞いたりしようと思う。他人のいやがることはしないこと、相手の気持ちを考えることを心がけ、みんなと仲良く、日々の生活を充実させようと思った。
- ・やっぱり、いじめはあってはならないものだと改めて感じました。いじめられている人の気持ちを考えると胸が痛いです。花田さんは自分がいじめられていたからこそ、いじめられている人の辛い思いを分かっている、いじめをなくそうと頑張っているのがすばらしいと印象に残っています。
- ・私も同じような経験をしたことがあるので、気持ちが何となく分かりました。いじめている人は自覚がないので、毎日普通でいられるのがすごいと思います。最近はインターネットでもいじめが始まって、自殺する人も増えているので気をつけて欲しいと思います。いじめを経験すると一人でいることが平気なようになって、人を頼れなくなり、信用できなくなったりするので、ちゃんと人を信じられるようにしてほしいと思います。
- ・友達をからかいすぎたり、からかわれたりしていじめにまで発展しないように、日々相手のことを考えてみようと思います。自分は思ったことをすぐ口にするので、何気ないひと言で傷つけないようにします。苦手な人もいるとは思いますが、絶対にいじめにならないように誰とでも仲良くします。
- ・自分が友達にした嫌なことは都合よく忘れて、逆に自分がされた嫌なことは根に持って覚えているという、無意識に自分に都合のいいように忘れてたり。覚えたりしていると分かりました。
- ・話しているのを聞き流して、時々話すみたいなことをしてよく分からないから、(ちゃんと)話すことを努力しようと思います。
- ・祥代さんはとても勇気があると思いました。いろんな人に自分の全てを打ち明けたのがすごいと思いました。
- ・僕もからかったりすることがありますが、相手はそれほど傷ついていないと思っていたけど、実はとても傷ついている可能性もあるので、気をつけていきたいと思っています。
- ・ひどいいじめを見たら止めれるといいと思います。そして一人になっている人を見たら、相談に乗ってあげられる人になりたいです。
- ・自分自身もいつわりの笑顔や元気をしてはいけないんだなあと思いました。
- ・人をからかったりしない。一人ぼっちの人を作らない。伊里中学校でのいじめを0にする。
- ・いじめる側、いじめられる側どちらの立場になっても憎しみは生まれると思いました。どちらにもならないように気をつけます。
- ・小学校の頃にたくさんそういうことをしてきたので、中学校からはみんな仲良くしたいです。ひとりぼっちの人がいないようにしたいです。私はもっと人の気持ちがわかるようになりたいです。

- ・考えてからいろいろな発言をしないといけない。
- ・嫌なことをされたり、言われたりしたら覚えているのは当然だと思います。私もいじめたり、いじめられたりした経験があります。今でもそのことはよく覚えています。そういうことをなくしていくには、普段から相手に対しての言葉使いなどをちゃんとして、いじめが起こらないようにしていきたいと思います。
- ・いじめる人は本当に覚えていないことを身をもって体験したことがあるので、「人の気持ちを考えて行動する」といつも思っています。人の気持ちを考えるといじめはできないと思います。
- ・いじめられた方は一生心に傷が残るから、イジメは絶対しないと決め、ひとりぼっちの子に声をかけたりするのは勇気がいるけど、勇気を出して声をかけてみようと思いました。
- ・いじめられたら、まず自分にも何か悪いところがあったのかなと思ってみる。親や先生に勇気を出して相談したのはすごいと思った。親や先生、先輩、クラスのみんなで「いじめの壁」を乗り越えたのはすごいことだと思います。
- ・いじめは本当に友達のを傷つけるんだと改めて実感しました。だからいじめはしたくないし、されたくもないです！！私も一人の子がいたら積極的に声をかけてあげようと思いました。これからも友達を大切に大事にしていきたいと思います。

## <先生から>

このお話のように、何気なく言った言葉が相手を傷つけることがあります。いつも相手がどう思うか考えながら話すことは難しいけれど、考え方や行動が自分と違って、一人の人として相手を大切にしたい気持ちがあれば、相手が傷ついたことに気づき、傷つけたと思ったらすぐに謝ることもできます。特に今はLINEなど顔の見えないコミュニケーションで誤解が生まれることも多いようです。一時の感情や誤解から、誤ったことを全世界に発信してしまう恐れもあります。自分が使う言葉。何気ない態度。振り返ってみる必要があります。

また、「いじめられている」と打ち明けた勇気に「すごい」と思ったという感想もたくさんありました。「本当の強さ」って何でしょう？祥代さんも家族から「この経験を通して強くなった」と言われています。感想の中にも「いじめるのは弱い人間」という言葉がありました。人はいろいろなことを力に変えて強くなることができるんだと思います。自分の弱みを打ち明ける勇気、ひとりぼっちの人に話しかける勇気。周りの人を信じる力。人の気持ちを考える力。家族、友達…ひょっとしたら、いじめいじめられた経験ですら、プラスにできる生き方も。誰にだってちょっとしたトラブルはあると思うけど、こんなことが壁を乗り越える力になるんでしょうね。